

総合球技場検討委員会 第3回 資料

- 1 第1回・第2回の検討委員会のまとめ [資料1 - 1、1 - 2]
- 2 今後の検討の流れについて [資料2]
- 3 総合球技場のあるべきすがたについて [資料3 - 1、3 - 2]
- 4 収容人数等基本的施設の規模について [資料4 - 1～4 - 4]
- 5 施設に付加されている機能例について [資料5]

2016年8月25日

総合球技場を取り巻く状況や求められる姿

- 総合球技場建設の要望 県サッカー協会、県ラグビーフットボール協会、県アメリカンフットボール協会等から10万人近い署名を知事に提出
- 全国各地で球技場建設の動き 国体標準競技場(陸上併用)からサッカー等球技専用の球技場へ
- 国の成長戦略 スポーツの成長産業化(スタジアム・アリーナ改革、スポーツを核としたまちづくり)
- わが街の球技場 スタジアムを集客装置としてコストセンターからプロフィットセンターへ
- リニア環境未来都市の拠点施設 次代を担う若者に夢や希望を与え、郷土に対する誇りを醸成
- リニア環境未来都市の拠点施設 県内外の人々の交流拠点として賑わいを創出

立地

- リニアによる立地の優位性を十分に生かすことが必要
- 渋滞が生じることのないよう交通環境に配慮をすべき

機能

- 県内には数少ない大規模イベントの受け入れが可能な施設としての活用も必要
- 球技場をスポーツ以外で活用し利益をあげることも必要
- 高齢者などへの配慮が必要
- 防災拠点としての役割も重視すべき

整備・運営

- 整備に当たっては、費用対効果を十分に検討すること
- 山梨の身の丈に合った施設とすべき
- 財源を確保し県民負担の軽減を図るべき
- 事業化に当たっては、PFIなどの導入検討を行うことが必要

意見の集約

サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールなどを行うことができる
総合球技場の整備を前提に検討を進める

第2回検討委員会(現地視察)の状況

【資料1 - 2】

南長野運動公園総合球技場



AC長野パルセイロ及び南長野スポーツマネジメント共同事業体(指定管理者)の案内により、ピッチ、スタンドのほか、一般者が立ち入ることのできないウォームアップルームやチーム更衣室、VIP室なども調査しました。

松本平広域公園総合球技場(アルウィン)



松本山雅FC 対 V・ファーレン長崎の試合が行われており、選手の息づかいやタックル音を間近で体感するとともに、選手と観客が一体となった雰囲気を感じることから生まれる総合球技場ならではの優れた効果を確認しました。

形態	総合球技場(都市公園施設)
設置者	長野市
指定管理者	南長野スポーツマネジメント共同事業体
Jクラブ	AC長野パルセイロ(J3)
完成年	平成27年3月(着工:平成25年12月)
所在地	長野県長野市
アクセス	JR篠ノ井線篠ノ井駅徒歩40分(タクシー10分)上信越道長野ICより車で約5分
ピッチサイズ	120m x 80m(グラウンド 128m x 90m)
建設費等	約79.8億円(国補33億、県補5億、市債34.4億、寄付金3.4億、一財4億)
J登録収容人数	15,000人(観客席:15,491席)
施設内の集客施設等	特になし
近隣の主な施設	野球場、プール、テニスコート等
駐車場	1,341台

形態	総合球技場(都市公園施設)
設置者	長野県
指定管理者	共同企業体(TOY BOX(松本土建(株)等))
Jクラブ	松本山雅FC(J2)
完成年	平成13年
所在地	長野県松本市
アクセス	篠ノ井線村井駅徒歩56分 長野自動車道塩尻北IC15分
ピッチサイズ	120m x 80m(グラウンド 130m x 90m)
建設費等	土地取得費13億円、建設費60億円(国補22億円、県費51億円)
J登録収容人数	20,396人
施設内の集客施設等	特になし
近隣の主な施設	陸上競技場、補助球技場、体育館等
駐車場	公園内駐車場

検討委員会の検討フロー

(第3回) 機能・規模等の検討

- ・ 総合球技場のあるべきすがたの整理
- ・ 収容人数等基本的施設規模の検討
- ・ 施設に付加されている機能例について

(第4回) 機能・規模等の整理及び整備・運営手法の検討

- ・ 収容人数等基本的施設規模の整理
- ・ 施設に付加する機能の整理
- ・ 整備・運営手法の検討

(第5回) 整備・運営手法の整理、整備候補地の検討

- ・ 整備・運営手法の整理
- ・ 整備候補地の検討

(第6回) まとめ

- ・ 検討委員会報告書のまとめ

総合球技場のあるべきすがた

【資料3 - 1】

総合球技場がもたらす効果と総合球技場に対する近年の考え方

総合球技場がもたらす効果

「見るスポーツ」や「するスポーツ」への効果

・ピッチが眼前に迫る球技場は、試合の臨場感を高め、見る者の更なる一体感を生み出す。一方、選手は、このような環境の中で、高いモチベーションを維持しながら、存分の力を発揮することができる

・質の高い試合を堪能することができる球技場は、見る者に夢や希望を与えるとともに、シビックプライド（個人個人が都市に抱く誇りや愛着）を育む

地域振興に対する効果

・交流人口の拡大などにより地域経済への波及効果を創出し、地域振興に大きく貢献する



比較例：中銀スタジアム（上）のフィールド内にアルウィン（下）の客席がほぼ収まる

総合球技場に対する近年の考え方

「スポーツ未来開拓会議 中間報告」抜粋（2016.6 スポーツ庁）

スポーツ人口を増やすためには、まずスポーツ観戦人口の増加を促すことが重要。まず、スポーツ観戦に伴う顧客経験価値（＝カスタマーエクスペリエンス）を高めるための飲食・物販・宿泊等付帯施設のスタジアム・アリーナ関係の整備が重要。また、スタジアム・アリーナへの大規模投資によるスポーツを核とした街づくりは、人口減少下での地域活性化につながり、波及効果を大きく促進するインフラ投資である。

これまで我が国の公共スポーツ施設は、公共サービスの延長線上で運営されてきているため、施設の整備・維持・管理においても、公共資金を投入してきている。・・・我が国の大規模集客型スポーツ施設の中には、国民体育大会を契機に整備されてきた「国体標準」と呼ばれる設計のものも多く、スポーツ産業のインフラとして不可欠な観戦者の視点や収益性の観点が乏しい面があるのも事実である。

スタジアムは、スポーツを成長産業として活性化させるための核となるインフラとも捉えることができ、コストセンターから、収益を生み出す我が国の経済成長を支えるプロフィットセンターとなるポテンシャルが大きいと考えられる。

収益性を見込める国内の既存のスタジアム等の共通点としては、収益源の多様化 興行の活発化 利用用途の多様化 利便性の高い立地戦略が必要であり、スタジアム等に収益の上がる仕組みを組み込むことにより、その収益からスポーツ振興に係る次なる投資につなげる循環をつくり出すことが重要である。

総合球技場のあるべきすがた

【資料3 - 2】

第1回検討委員会の委員の御提言、第2回現地視察を踏まえ、本県が整備しようとする総合球技場のあるべきすがたについて、各視点から主な項目について整理する。

[立地の視点] 山梨の強みを生かす

リニア開業による立地の優位性を生かすとともに、環境と調和した山梨らしい総合球技場

[機能の視点] 県民の「見るスポーツ」「するスポーツ」を充実する とともに地域の発展の可能性を拓ける

サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールなどを行うことができ、臨場感・躍動感の感じられる総合球技場

交流人口の拡大などにより、地域の活性化に貢献する総合球技場

高齢者や障害をもつ人、女性などへの配慮がなされ、気軽につどい感動を共有できる総合球技場

災害発生時に防災拠点としての役割も担う総合球技場

[整備・運営の視点] 県民負担を軽減する

本県の身の丈に合うとともに、建設のための財源確保・効率的な運営手法を念頭に置いた総合球技場

収容人数等基本的施設の規模

【資料4 - 1】

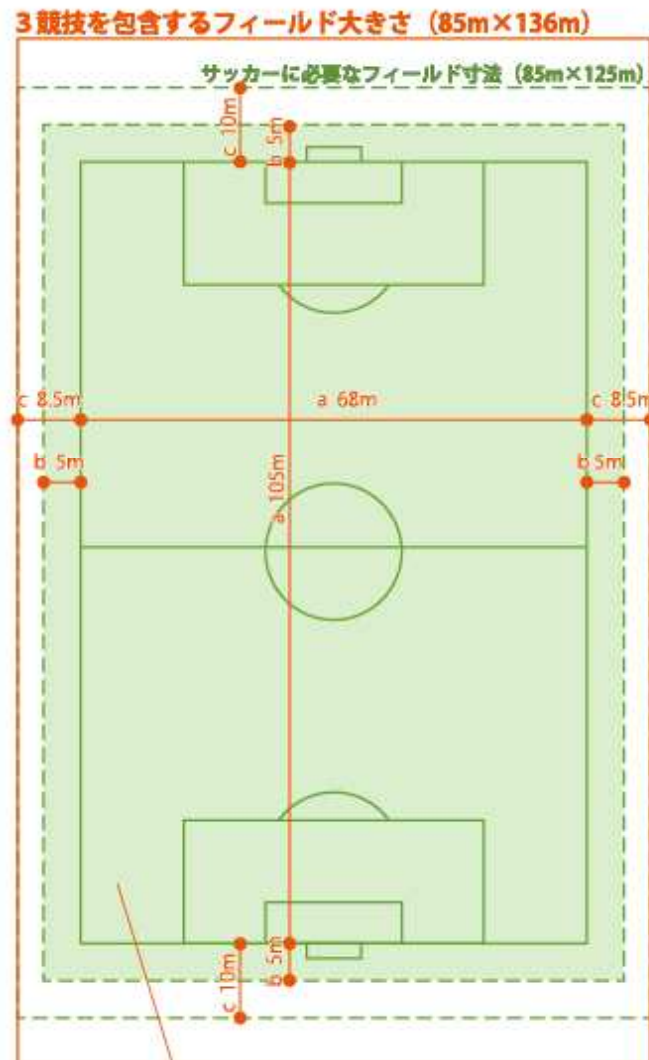
競技種目について

■サッカー

フィールド寸法は「スタジアム標準（日本サッカー協会）」に基づき設定する。

- a ピッチ寸法は **68m×105m** とする。
- b 芝面のサイズは、ピッチ外周に **5m** を確保する。
- c ピッチの外周は、ゴールラインから **10m**、タッチラインから **8.5m** の広さを確保する。

サッカーフィールド：85m×125m



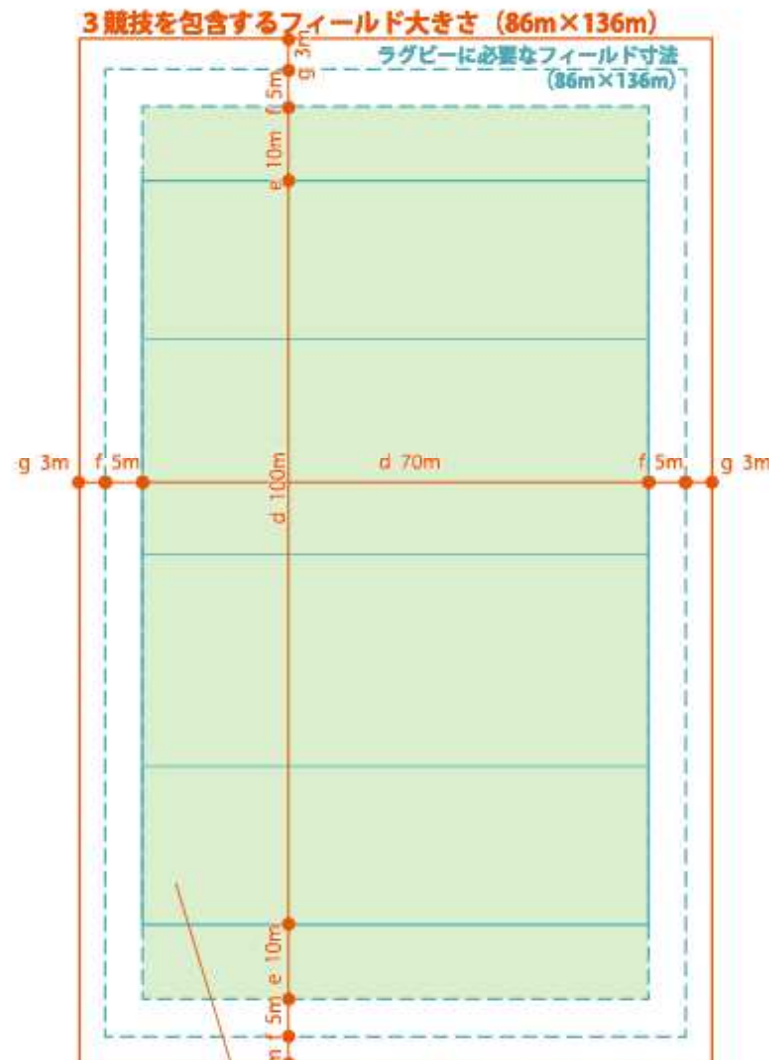
■ラグビー

フィールド寸法は「競技規則（ワールドラグビー）」に基づき設定する。
 d フィールドオブプレー寸法は、68m～70m×94～100mとされており、**70m×100m** とする。

- e タッチインゴール寸法は、同規則において **10m～22m** とされており、極力コンパクトに設定することを重視し、**10m** とする。
- f 周辺区域は競技区域の外側に **5m** 確保することが望ましい。
- g 周辺区域の外側にメディアスペースとして **3m** 確保する。(規則外)

ラグビーフィールド：86m×136m

※gは大規模大会に必要なスペースのため、必要性について要確認

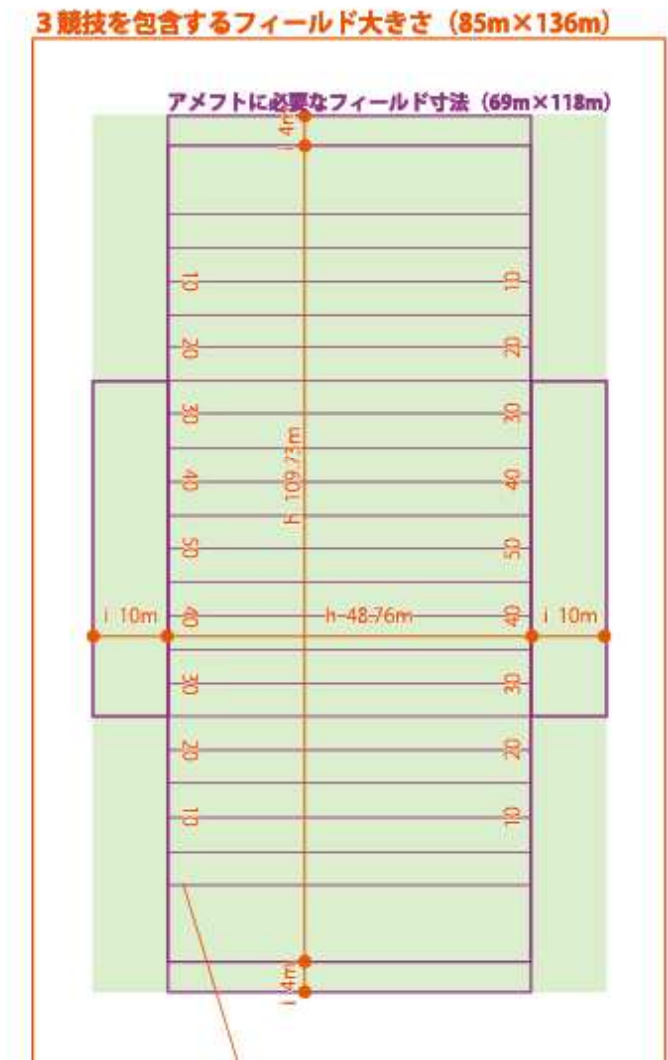


■アメリカンフットボール

フィールド寸法は「アメリカンフットボール公式規則（日本アメリカンフットボール協会）」に基づき設定する。

- h 競技寸法は、120ヤード×160フィート (**48.76m×109.73m**) とする。
- i 外周のリミットラインは、サイドライン側はチームエリアを含めて約 **10m** 確保します。また、ゴールライン側は約 **4m** 確保します。

アメリカンフットボールフィールド：約69m×118m



新スタジアムに必要なフィールド寸法

上図のサッカー・ラグビー・アメフトに必要なフィールド寸法を包含するフィールド寸法は以下のとおりとなる

86m×136m

※サッカー主体とした場合、フィールド寸法は過大となるため、ラグビーの設定と調整が必要

収容人数等基本的施設の規模

収容人数について（１）

[ラグビー] トップリーグについては、規約で10,000人以上を条件としている。

[アメフト] 日本アメリカンフットボール協会においては、現在、規定は無い。

[サッカー] Jリーグ・JFAの基準に基づく収容人数は、以下のとおりとなる。

各種基準に基づく収容人数の設定

<リーグ「スタジアム検査要項（2015年度用）」>

- ・ Jリーグディビジョン1は**15,000人以上**、ディビジョン2は10,000人以上。

<日本サッカー協会「スタジアム標準」>

- ・ 右表により分類され、下表によりクラスごとに収容人数が定められている。

- ・ **クラスSまたはクラス1を開催するためには、収容人数は20,000人以上が必要**とされている。

Jリーグの検査要項とスタジアム標準で5,000人の相違があることについては、検査要項は既存改修も見据えた最低基準を示したものであり、スタジアム標準は新築における望ましいレベルを示したものと解釈される。

クラス別収容規模（新設の場合）

	収容人員規模
クラスS	40,000人以上
クラス1	20,000～40,000人
クラス2	15,000～20,000人
クラス3	5,000～15,000人
クラス4	～5,000人

【資料4 - 2】

クラス別分類

クラス	対 象	
	主催	国内大会(リーグ)
クラスS	FIFA AFC JFA	FIFA クラブワールドカップ AFC チャンピオンズリーグ(決勝トーナメント) 日本代表(A, OP)公式試合 日本代表(A, OP)親善試合 Jリーグディビジョン1 Jリーグディビジョン2 天皇杯全日本サッカー選手権大会(準決勝・決勝) 高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会(準決勝・決勝) 高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会(決勝) 全日本女子サッカー選手権大会(決勝)
クラス1	AFC JFA	AFC チャンピオンズリーグ 日本代表(OP, U20, U-17)公式試合 日本代表(OP, U20, U-17)親善試合 Jリーグディビジョン1 Jリーグディビジョン2 天皇杯全日本サッカー選手権大会(3回戦～準々決勝) 高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会(準決勝・決勝) 高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会(決勝) 全日本女子サッカー選手権大会(決勝)
クラス2	JFA	日本代表(U20, U17)公式試合 日本代表(U20, U17)親善試合 Jリーグディビジョン2 天皇杯全日本サッカー選手権大会(3回戦～準々決勝) 高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 全日本女子サッカー選手権大会 地域リーグ決勝大会
クラス3	JFA	日本代表(U17)公式試合 日本代表(U17)親善試合 天皇杯全日本サッカー選手権大会(1回戦～3回戦) 高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 全日本女子サッカー選手権大会 日本フットボールリーグ(JFL) 日本女子サッカーリーグ(Lリーグ)
クラス4	JFA 地域主催大会 都道府県大会	地域リーグ決勝大会 2次リーグ 地域リーグ決勝大会 1次リーグ 日本フットボールリーグ(JFL) 日本女子サッカーリーグ(Lリーグ) 各種別大会決勝

収容人数等基本的施設の規模【資料4 - 3】

収容人数について(2)

観客動員数をもとにした収容人数について

< ヴァンフォーレ甲府の実績動員数 >

- ・ ヴァンフォーレ甲府の過去年間平均最多観客動員数 **12,406人(2010年)**
(2010年の最多動員数は16,431人、また、過去最多動員数は2006年の17,000人である。)

< 他県の新設実績もしくは新設計画からの推計 >

2005年以降に新設した球技場の新設前後の年間平均最多観客動員数の増加率()及び、現在、球技場の整備計画が進行中の事例の計画収容人数と年間平均最多観客動員数の関係性()は以下のとおり。

2005年以降に新設した球技場の新設前後の増加率

- ・ フクダ電子アリーナ(2006)(ジェフ千葉) 147% (2004年:10,013人 2009年:14,731人)
- ・ 吹田スタジアム(2016)(ガンバ大阪) 143% (2009年:17,713人 2016年:25,367人)
- ・ 南長野運動公園総合球技場(2015)(長野パルセイロ) 146% (2014年: 3,595人 2016年: 5,232人)

球技場の整備計画が進行中の事例の想定規模と観客動員数の関係

- ・ サンフレッチェ広島・・・141% (新スタジアムの想定規模は25,000席)
- ・ 京都パープルサンガ・・・146% (新スタジアムの想定規模は20,000席)
- ・ モンテディオ山形・・・166% (新スタジアムの想定規模は20,000席)

上記 から、球技場新設に伴う収容人数の設定は、過去の年間平均最多観客動員数の **5割程度の増加** となる。

この増加率をヴァンフォーレ甲府の過去年間平均最多観客動員数に置き換えると

約19,000人

という計算になる。

ヴァンフォーレ甲府の観客動員数実績

年度	カテゴリー	観客数	収容率	備考
2016	J1	10,854	63.84%	2ndステージ 第8節時点
2015	J1	11,297	66.45%	
2014	J1	10,439	61.40%	2試合を国立 競技場で開催
		12,171		
2013	J1	11,596	68.21%	1試合を国立 競技場で開催
		12,614		
2012	J2	10,407	61.20%	
2011	J1	11,513	67.72%	1試合を国立 競技場で開催
		12,106		
2010	J2	12,406	73%	
2009	J2	11,059	65.05%	
2008	J2	10,354	60.90%	
2007	J1	12,295	72.32%	1試合を国立 競技場で開催
		13,734		
2006	J1	12,064	70.90%	1試合を松本平 広域公園総合球 技場で開催
		12,213		
2005	J2	6,799	39.99%	1試合を松本平 広域公園総合球 技場で開催
		6,931		
2004	J2	6,357	37.39%	1試合を松本平 広域公園総合球 技場で開催
		6,370		
2003	J2	5,451	32.06%	1試合を松本平 広域公園総合球 技場で開催
		5,796		
2002	J2	4,914	28.90%	
2001	J2	3,130	18.40%	
2000	J2	2,009	11.81%	1試合を富士 北麓公園陸上 競技場で開催
		1,850		
平均動員数		8,975		
最大動員数		12,295	2007年度	

観客動員数の2段書きの上段は山梨中銀スタジアム(小瀬スポーツ公園陸上競技場)のみの人数を示す。下段はその他会場で開催されたホームゲームでの動員数を含む。

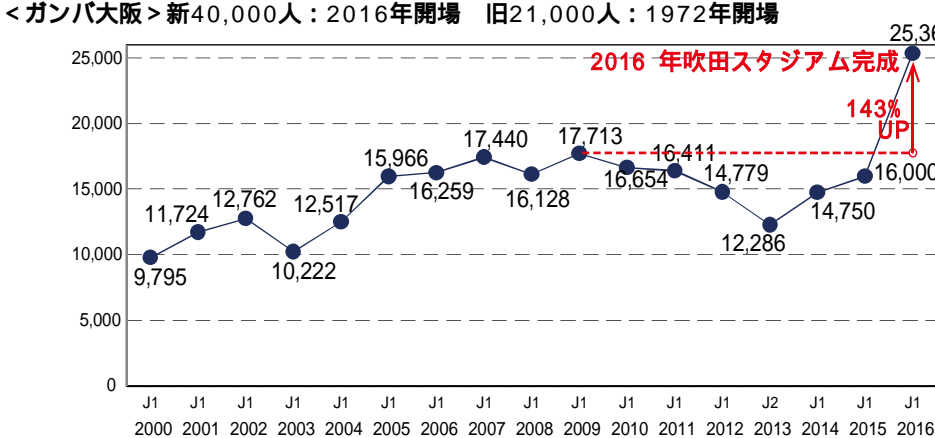
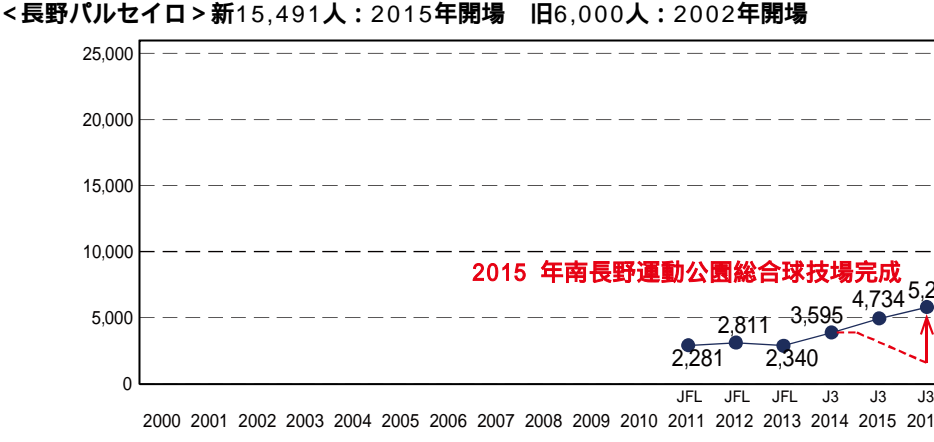
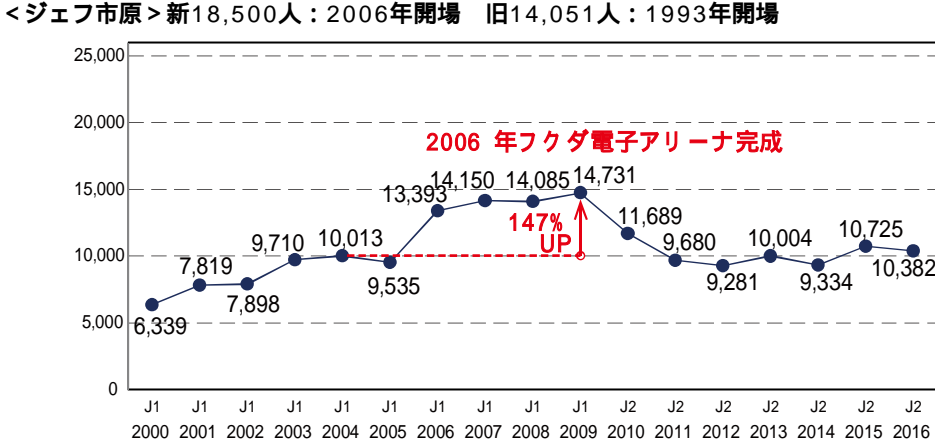
本県に新設する球技場の収容人数算定のため、他会場で開催された観客動員実績は除くものとする。

収容人数等基本的施設の規模

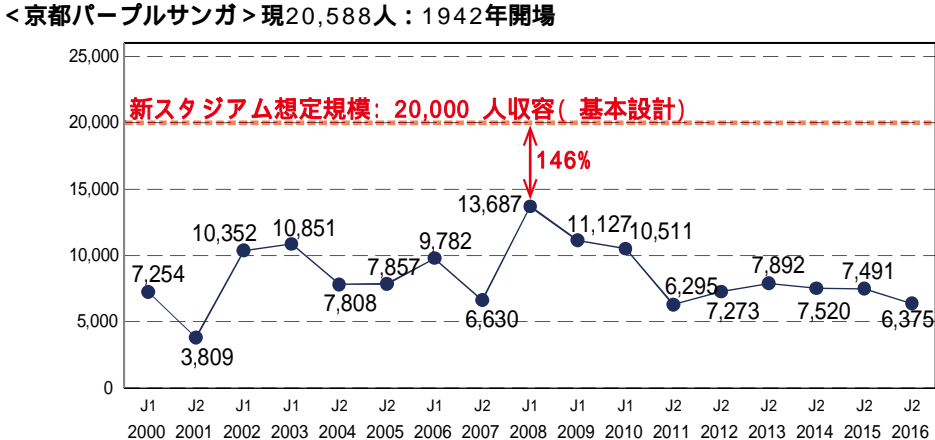
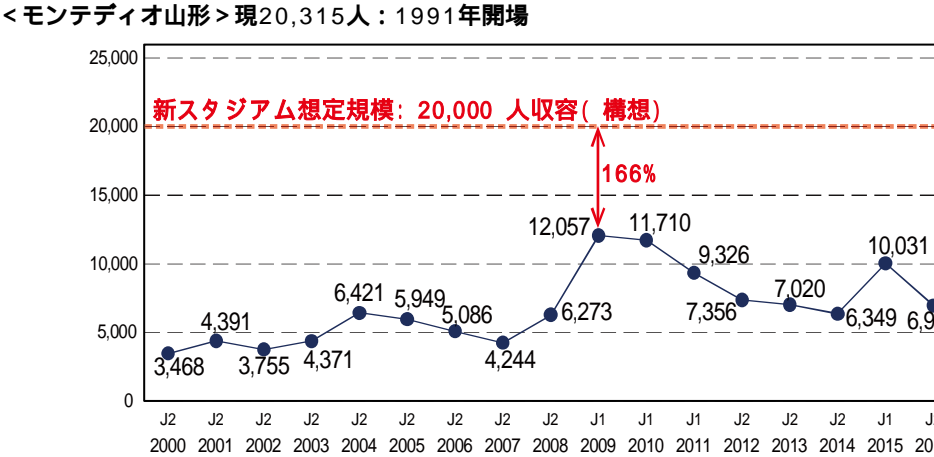
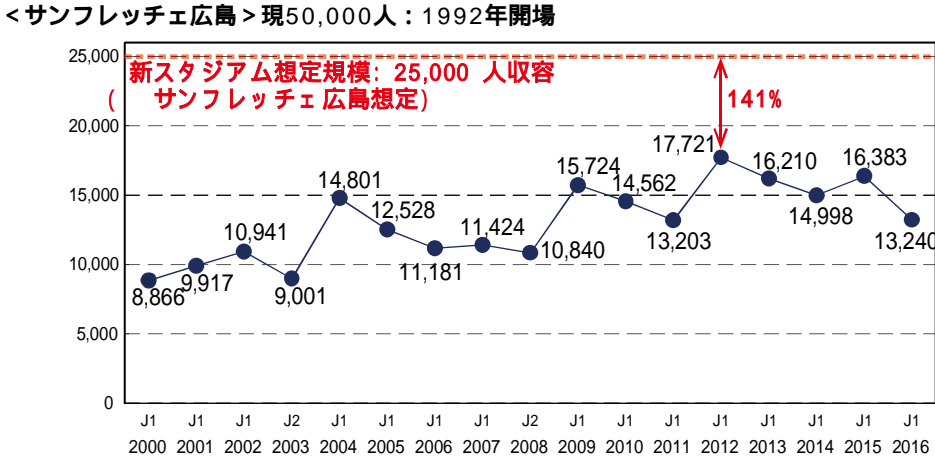
【資料4 - 4】

新球技場の整備を契機とする観客動員数の推移等

2005年以降にスタジアムを新設したチーム



現在、新スタジアムの構想・計画が進んでいる事例



施設に付加されている機能例

観戦者から地域住民まで広く利用する「商業集客」、主に企業・団体などが利用する「ビジネス」、地域住民などが利用する「生活」、「その他」に大きく機能分類し整理した。

〔 J 1 ・ J 2 関連全国56施設の状況 〕

機能分類		導入機能	箇所数	施設名
商業集客	飲食	レストラン、カフェ	9	県立カシマサッカースタジアム、日産スタジアム、豊田スタジアム、万博記念競技場、ノエビアスタジアム神戸、エディオンスタジアム広島、レベルファイブスタジアム、札幌ドーム、ヤンマースタジアム長居
	物販	売店	56	全施設
		グッズショップ	12	埼玉スタジアム2002、NACK5スタジアム、等々力陸上競技、日産スタジアム、市立吹田サッカースタジアム、札幌ドーム 他6箇所
	文化	スポーツミュージアム	7	県立カシマサッカースタジアム、デンカビッグスワンスタジアム、豊田スタジアム、市立吹田サッカースタジアム、ノエビアスタジアム神戸、札幌ドーム、シティライトスタジアム
	宿泊	ホテル	1	ヤンマースタジアム長居 ユースホステル
研修施設		4	ノエビアスタジアム神戸、エコパスタジアム、鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム、ニンジニアスタジアム	
ビジネス	会議室	42	県立カシマサッカースタジアム、味の素スタジアム、Shounan BMW スタジアム平塚、山梨中銀スタジアム 他38箇所	
生活	フィットネス	17	県立カシマサッカースタジアム、埼玉スタジアム2002、日産スタジアム、Shounan BMW スタジアム平塚 他13箇所	
	診療所	1	県立カシマサッカースタジアム	
その他	スポーツ情報センター	1	ヤンマースタジアム長居	
	医療センター	3	ひとめぼれスタジアム宮城、日産スタジアム、デンカビッグスワンスタジアム	

施設をイベント等に活用している事例	結婚式場、コンサート、フリーマーケット、ビアガーデン、施設内見学ツアー等
-------------------	--------------------------------------